

令和6年8月6日(火)、幼稚園、小学校、義務教育学校(前期課程)の教員及び保育所・認定こども園の保育士・保育教諭を対象に、専門研修2「発達障がいのある幼児・児童のライフステージに応じた支援～今日の『できた』を未来(あした)へつなげる～」を実施しました。

講義では、「発達障がいのある幼児・児童のライフステージに応じた課題と支援」として、共生社会や発達障がいについての基本的な理解、ライフステージに応じた支援、就学に関する基本的な考え方等を確認しました。



実践発表では、泉崎村立泉崎幼稚園の二瓶美絵専門教諭、泉崎村立泉崎第二小学校の小玉順子教諭より、「発達障がいのある幼児・児童への支援と対応、引継ぎの実際」として、発達障がいや困り感のある子どもへの支援の実際、発達障がいのある子どもの入学に向けた幼稚園と小学校との引継ぎ等について、発表していただきました。幼稚園と小学校が連携し、子どもの学びや成長を支える取組は、受講者にとって大変参考となるものでした。



協議では、「子どもの可能性や個性を伸ばす教育機会の提供のためのケース検討」をテーマに受講者が持ち寄った事例について、「今日の『できた』を実現するための指導・支援についてアイデアを出し合いました。



受講者からは、「私たちは『共生社会の担い手を育む』ことが大切であることを知った。」「発達障がいの分類やそれぞれの特性に対しての支援の仕方、切れ目のない支援の仕方を知ることができた。」といった感想が寄せられました。幼児期・学童期という子どもたちの困難さに「気付く」時期だからこそ、できることや大切にしなければならないことがあることを知り、これからの取組につなげていける機会となったようです。